

令和 6 年度

宮崎美容専門学校

(自令和 6 年 4 月 1 日 至令和 7 年 3 月 3 1 日)

学校自己評価結果

宮崎美容専門学校 学校自己評価委員

委員長 理事長
委 員 副校長
教頭

梶本 辰男
長倉 たづ子
市坪 正志

令和6年度 宮崎美容専門学校 自己評価結果

1、学校の教育目標

本校は、「衛生法」という法律に基づき、宮崎県下組合加入店 1,000 店舗以上ある、安定した設置基盤の下で、宮崎県美容業生活衛生同業組合が設置した組合立の美容学校です。

本校では、「美を求め」「美を創る」という建学の精神を持ち、美容に関する基本技術や知識の習得はもちろん、衛生管理及び応用技術を指導し、教養品位のある豊かな知性の習得をめざし、有能な美容師を養成することを教育目標としています。

2、本年度の重点目標

- ・美容師国家試験全員合格
- ・美容に関する知識や技術・感性を身に付けようと、熱意を持って取り組む人
- ・将来的な目標を持って美容業界で働きたい人
- ・他者を思いやる心がある人
- ・挨拶ができる人

3、自己評価項目の達成及び取組状況

評価点数	4…適切	3…ほぼ適切	2…やや不適切	1…不適切
------	------	--------	---------	-------

(1) 教育理念 目標

	評 価 項 目	自己評価
1	学校の理念・教育方針・人材育成像は定められているか	4
2	学校の目指す職業教育の特色が理解され、指導に生かされているか	4
3	社会のニーズを的確に捉え、学校の将来構想が示されているか	4
4	学校の理念・教育方針・育成人材像・特色・将来構想が学生や保護者に周知されているか	3

本校は、昭和31年に組合立として設立された養成施設であり、先人たちが教えた教育理念や教育方針を受け継ぎ、それを目まぐるしく変化する現在に沿うよう学生の個人を尊重し、美容業界に寄与できる人材育成を目的に指導している。生徒も多様化してきており、規律を重んじながら、一般的常識の中で生徒の精神的負担も少なくできるように個々に対応する必要性も出てきている。

1・2は、職員に周知を図っています。

3は、現役の美容師を外部講師として招聘し現場の技術、動向、流行を感じられるように、美容室のニーズを踏まえ、ブライダルコース、ヘアカット・ヘアカラーコースを設置し生徒の技術向上を目指した授業を実施。SBSネイル検定、SBSメイク認定、まつ毛エクステンションのほかに、希望者にはJNA（日本ネイリスト協会）3級の認定授業も増え、より幅広く充実した授業体制も整っています。

4は、美容師の国家試験全員合格を主軸とし、美容業界で働く意識や、幅広い美容意識や技術を高める為に、全国理容美容学生大会に参加し、生徒も入賞できるなど、指導も充実している。保護者には、参観日と通じて、実技参観を行い、親御さんにモデルとして技術を体験している。

(2) 学校運営

	評 価 項 目	自己 評価
1	教育方針・目標に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は明確で有効に機能しているか	4
4	教職員の人事、給与に関する規定は明確に、正当に整備されているか	3
5	教務、財務等の組織や環境整備は正当に整備されているか	4
6	教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
7	教育活動などに関する情報公開は適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか	3

1は、「教育方針・目標」に沿った理念で、美容師国家試験全員合格を目標として学校運営を行っている。

2は、1に沿って年間の事業計画を立案し、生徒への魅力のある授業を取り入れ、学校運営をしている。

3は、理事長を頂点とし、副校長、教頭のもとで運営方針と決定し、職員で随時、細部の意思決定をしている。

4は、職員就業規則に沿って実施している。

5・6は、理事長を頂点とし、宮崎県美容業生活衛生同業組合の総代会で決算を報告し、管理職が適切に、実施している。

7は、本校のホームページ・SNS（Facebook・Instagram・Twitter）で公開し、より多くの関係者に美容

学校の活動状況を公開している。

8は、学生成績（学籍簿）をシステム化し、職員間の情報共有を図り、効率化・省力化が図られている

（3）教育活動

	評 価 項 目	自己 評価
1	教育理念・教育方針・目標に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4
2	育成人材像や業界のニーズを踏まえて、修業年限に応じた教育の到達レベルや学習時間の 確保は明確にされているか	3
3	実習・学科などのカリキュラムは体系的に編成され、学習指導方法の工夫や研究などが職業訓練という視点で行われているか	3
4	一美容業界との連携によるカリキュラムの作成やその定期的な見直しがなされているか	3
5	美容業界と連携して、実践的な職業教育を目的とした実務実習（インターンシップ）が行 われているか	3
6	授業評価を行うため、研究授業等の評価体制は適切に実施されているか	3
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
8	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
9	人材育成の要件を備えた教員が、教育目標に沿って確保されているか	3
10	美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の向上のための取り組みは行われているか	3
11	職員の能力開発のための研修は行われているか	4

1は、教育理念・教育方針に従って、美容師国家試験合格を目標とし、実技、学科の対策を行っている。

2・4は、美容業界で活躍できる人材として、外部講師を迎え、カット授業、ヘアカラー授業、ブライダル（メイク・ヘアセット・撮影会）授業・SBSメイク・SBSネイル 授業等を実施し、業界のニーズを踏まえ今回新たに、JNA日本ネイルスト検定（3級）を実施している。

3は、実習は、学校での実技指導内容を統一し、学年ごとの実技到達目標を達成できるように指導をして、美容師国家試験合格に導いている。学科は、各教科担当の先生のカリキュラムに従って美容師国家試験合格に向けて実施している。

5は、組合による美容学校なので、美容室との連携がとれ、1年次は12月に、2年次は9月に実践的な

実務実習が実施されている。

6は、定期的に授業計画を見直し、教員同士で話し合い、授業の質の向上に努めている。

7は、学校関係者評価委員は、外部講師として生徒と接している先生もいらっしゃいます。講師の先生方の意見をもとに、学校運営に生かしている。

8は、成績評価・単位認定、進級・卒業認定は、学則に従い、学生の卒業までの認定を行い、成績の評価に至らない生徒は個別指導を行うことで卒業の認定へ達するように指導している。

9、10、11は、常勤職員を中心に授業を編成し、外部講師により、業界ニーズを踏まえた教育を実施している。ネイル、まつ毛エクステンションの講習に参加し、教員の指導力向上へ取り組みをしている。新人の教員は、教育センターの即戦力講習会に複数回にわたり参加し、美容技術の向上に努めている。

(4) 学習成果

	評 価 項 目	自己 評価
1	学生の就職率向上が図られているか	4
2	学生の美容師資格取得（美容師国家試験）率の向上が図られているか	4
3	学生の退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	就職後のキャリア形成状況を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3

1は、ガイダンスにおいて加企業も増え、県内就職、県外就職の希望した企業への就職も進めることができた。就職率は以前と変わらず、高い就職率となった。

2は、美容師国家試験は、依然として高い合格率を維持している。

3は、担任による指導に加えて、副校長、教頭の面談を行い、生徒の問題解決に向けてカウンセリングを行うことで、低い退学率を保っている。

4は、卒業生は、卒業後、組合活動に参加することが多く、情報交換を行っている。

(5) 学生支援

	評 価 項 目	自己 評価
1	学生の就職支援体制は整備されているか	4
2	学生の教育相談体制は整備されているか	4
3	学生の経済的支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4
5	学生の課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3
7	保護者との連携は適切に実施されているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校や専修学校等と連携してキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

1は、4・5・6月に就職ガイダンスを実施し、希望地域ごとに美容室の先生の話が聞け、ガイダンス後のホラーも実施し、就職への体制を強化している。

2は、日ごろ生徒と接している先生だからこそわかる、生徒の細かな変化を察し、相談しやすい状況を作り早い対応に心がけている。

3の経済的支援体制は、入学時の生徒調査票の評価内容によって、学生支援制度を利用できるようになっている。他にも奨学金制度等を利用できる体制を作っている。

6は昼間課程は、登校時間を40分遅らせることで、遠方からの生徒さんが登校しやすい状況を作った。交通費の援助もあり家庭への経済的負担も少なくするように努力している。

7は、気になる生徒さんは、学校での生徒の生活状況を親御さんと連絡を随時とり問題解決に対応している。

(6) 教育環境

	評 価 項 目	自己 評価
1	施設・設備は教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について適正な教育体制を整備しているか	4

3	防災に対する体制は整備されているか	4
---	-------------------	---

1は、改修、設備の定期的に検査し、また、修理改善を実施して、学校での教育が安定して実施できるように努めている。

学科授業のレベル向上に、先生方のパソコンへのパワーポイントソフトの追加で、今後の学科授業への整備を行ってきた。パワーポイントを使用する先生方が増え、視覚的に見やすい授業となっている。

2は、美容組合の設立した美容学校なので、地区ごとにインターンシップを実施できる美容室が、多くあり適正な教育体制を整えている。

3は、年に2回の防災訓練を実施し、生徒、教員の避難訓練、教員の消火活動の訓練を実施することで防災への意識付けを行っている。

(7) 学生の受け入れ募集

	評 価 項 目	自己 評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	4
2	学生募集活動においては教育活動や成果を正確に伝えているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

1は、入学案内を募集要項は、毎年見直しを行っています。オープンキャンパスも随時、個々での説明会を行うことで生徒の美容学校入学へのサポートを行っている。また、AO入試の実施で、生徒も早い段階での募集が決まり、入学に向けた準備をすることができる。進学サポートガイダンス等の企業斡旋により、各学校での募集活動を実施している。

2は、学生のオープンキャンパス参加により、在学生と技術交流をしながら、美容学校での学生生活について具体的に話ができるなど、入学希望者との話し合いの場を用意している。

3は、昼間課程、夜間課程においては、美容師国家試験の受験料は、校納金の中から支出し、学生の負担が増えることがないようにしている。また、昼間課程においては、交通費の補助(半額)を実施することで、学生への負担を軽減している。

夜間課程は、昼間課程の学費63%と生徒への負担を少なく卒業できるように企業努力をしている。

昼間課程・夜間課程は、「教育訓練給付金」の申請許可が下り、社会人で2年以上の雇用保険加入者は、ハローワークの支給で、60～80万円ほどの給付金がある。昼間課程では、「教育訓練支援給付金」制度もあり、雇用保険の基本手当の日額の80%に相当する額をハローワークから支給する制度もあり、美容学校への入学希望者に後押しする制度を実施した。

(8) 法令等の遵守

	評 価 項 目	自己 評価
1	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	3

1は、美容師法、専門学校設置基準に基づいて、厳格に運営されている。

2は、個人情報の保護は、重要な課題であり、教員の啓蒙を浸透し、厳格に管理している。入学時、保護者や入学生に本校の個人情報保護に対する取り組みを説明し、ご理解いただいています。

3は、毎年度、自己評価委員会の実施で、問題点の改善を行っている。

4は、自己評価委員会の内容をホームページ上で公開している。

(9) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	自己 評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

1、2、3は、衛生指導センターとの連携で、中学校への衛生関係事業の普及として、美容体験を実施。中学生の今後の美容の仕事への関心と具体的な技術体験をすることで、地域、地元に対する美容体験学習を実施している。

(10) 財務

	評 価 項 目	自己 評価
1	学校の財務基盤は中長期的に安定しているといえるか	4
2	学校の予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務の情報公開体制は整備できているか	4

1は、良好で。会計審査も厳格に行われています。

2は、収入の安定化の為に、生徒募集の強化が必要

3は、美容組合の総代会で監査報告を行い、収入・支出ともに正確であり、正当に処理されている。

4は、学校のホームページ上に財務諸表（美容組合-損益計算書・貸貸対照表・財産目録・事業報告書・監査報告書）の公開を行っている。